

# たくさんの農産物はどうやっ

# てみんなの食卓に届くのかな？



## 農家

自分で作った農産物を自分で売っている農家さんもいます。

### JA (農業協同組合)

農業協同組合は、農協とも呼ばれ、各農家から農産物を集めて、共同で出荷する役割を担っています。集めた農産物は地元の<sup>おおいとしこうせつちほうおろしうり</sup>大分市公設地方卸売市場などに出荷しています。商品性を高め、公平な取引をしてもらうために、農家が農協に出荷する農産物には、一定の規格が設けられています。

この他にも、農家への農産物の作り方の指導や農業に必要な資材<sup>しざい</sup>をまとめて購入したり、農業用機械を購入するときに必要なお金を貸したりしています。



### 直売所

直売所の農産物は、農家が自ら持ってきて、店頭<sup>みせ</sup>に並べます。新鮮で、「作った人の顔が見える」安心な農産物を買うことができます。最近では利用する人が増え、市内でも多くの直売所が見られるようになりました。また、農家の人が作った漬物<sup>つけもの</sup>などの加工品も販売され、それを目当てに利用する人も多くいます。



### 加工

キズがあったり、大きさが整わなかったり、作りすぎてしまった農産物を、有効に活用するため、調理し、加工品にします。加工することで、より価値の高いものに生まれ変わります。また、商品を通じて農産物のおいしさをより多くの人に伝えることができます。



### スーパー

仲卸業者<sup>なかおろしぎょうしゃ</sup>から様々な農産物などを購入して、トラックに積み込み、お店に持ち帰ります。商品として店頭<sup>みせ</sup>に並べて、お客さんに販売しています。商品にはどこで生産されたものかがわかるように表示<sup>ひょうじ</sup>しています。



### 福岡・ 関西の市場

農産物によっては、大分以外にも福岡・関西方面などの大都市へ出荷しています。



全国各地

輸入

海外から輸入されている農産物もあります。



なるべく地元の農産物を食べて、「地産地消」をしたいよね！

「地産地消」ってなんだ？

## 市場

<sup>おおいとしこうせつちほうおろしうりしじょう</sup>(大分市公設地方卸売市場)



市場には全国各地からいろいろな農産物が運ばれてきます。大分市公設地方卸売市場には、青果、水産物、花の3部門があり、それぞれの卸売場で早朝から「せり」が開始されます。

せり人(卸売業者)の呼びかけに応じて仲卸業者などの買い手が指で値段を示していき、一番高い値段をつけた人がその品物を買うことができます。

### 卸売業者

卸売業者は、国内外の産地から届いた様々な農産物を受け取って、品目や等級別に分けます。農産物は段ボール箱に入のまま卸売場に並べられ、卸売業者は、せり・相対取引などを行って仲卸業者や売買参加者に販売します。



### 仲卸業者

仲卸業者は、「せり」で買った農産物を市場内にある自分たちの店に運び、少量に分けて、八百屋やスーパー、飲食店などの市場に買出しにくる人たちに販売します。

